

新しい感染症対策の あり方に関する シンポジウム

受講料 無料
事前申込制

定員
1000名

新型コロナウイルス感染症パンデミック対策の経験や知見を踏まえて、新しい感染症対策のあり方に寄与できるよう検討と発信を行う企画です。皆様のご参加をおまちしております。

【開催日時】

2021

11/18(木) 17:00～
全体150分

【開催形式】

Zoomウェビナー

事前申込 URL・QR

<https://tinyurl.com/3af4yj8v>



お問い合わせ

京都大学 社会健康医学系専攻
toiawase-sph@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

基調講演

門田 守人氏 [日本医学会連合会長]

「健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のための情報分析と活用ならびに人材支援組織の創設」(日本医学会連合)とこれまでの議論、あるべき姿(案)

シンポジウム

司会

吉中 丈志氏 [公益社団法人京都保健会理事長]

今中 雄一氏 [京都大学社会健康医学系専攻長]

吉中 丈志氏 [公益社団法人京都保健会理事長]

シンポジウムの目指すところ

今中 雄一氏 [京都大学社会健康医学系専攻長]

包括的なパンデミック対策フレームワーク

COVID-19の医療システムへの影響

増田 道彦氏 [京都府保険医協会監事/宇治徳洲会病院名誉院長]

医療現場から「感染症対応体制の見直しと保健所再生を」(提言)の紹介

西浦 博氏 [京都大学環境衛生学教授]

「必要病床数の把握と医療逼迫に伴う死亡等リスクの変化」

コメンテーター

本庶 佑氏 [京都大学特別教授]

【主催】 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻

【共催】 公益社団法人京都保健会

【後援】 日本医師会/日本医学会連合/日本病院会/日本看護協会/

京都府/京都市/京都府病院協会/京都府看護協会/京都府保険医協会/兵庫県医師会/奈良県医師会/
京都新聞/朝日新聞京都総局/毎日新聞京都支局/産経新聞京都総局/日本医学ジャーナリスト協会